



ゆたたり

学校教育目標 「元気いっぱい 笑顔いっぱい とともに学び合う多良っ子の育成」

令和2年8月25日発行 文責 校長 副島 和久

二学期がスタートしました!



学校HPもご覧ください

今年度は、8月24日(月)から2学期がスタートしました。新型コロナウイルスによる臨時休業の影響もあり、いつもよりちょっと短い夏休みでしたが、子どもたちは朝から頑張って登校していました。夏休みの宿題や借りていた図書室の本をたくさん持ってきていました。夏休みに頑張ったみたいですね。

靴箱の上には、小野原先生から「元気なあいさつで、2学期をスタート!」という子どもたちへのメッセージも掲げてありましたね。



始業式を行いました!

1学期の終業式と同じように、体育館を横に使う、お互いの間隔をとりながら整列し、体育館いっぱい広がって2学期の始業式を行いました。久しぶりに歌う校歌の歌声はちょっと元気がなかったけど、1年生から6年生まで、みんなよい姿勢で集中して話を聴くことができていました。



校長からは、夏休みに入る前に子どもたちにお願したこと(学校便り第16号参照)の振り返りをした後に、2学期に頑張してほしいことをまた3つお願いしました。



1 学校行事を通して、学級や学年の友達との絆(きずな)を深めよう

2学期には運動会や修学旅行、宿泊体験学習、多良っ子学習発表会などたくさんの学校行事を予定しています。いろいろな行事に全力で取り組み、その中でいろいろな友達のよさに気づき、学級・学年のまとまりがさらに深まるとよいですね。

2 充実の2学期、勉強に力を入れよう

得意な教科をもっと得意に、苦手な教科も何とか克服してみよう。大切なことは勉強を楽しむことです。また、勉強するときの合言葉は「わかるまで できるまで おぼえるまで」です。自分で自分にテストしてみるなど、学習方法も工夫してみよう。

3 自分たちの安全・安心をしっかりと守ろう

新型コロナウイルスや熱中症など、まだまだ心配なことがたくさんあります。まずは、手洗い、うがい、マスクやフェイスシールドの着用、こまめな水分補給など、当たり前のことをきちんとできる人になりましょう。登下校時の交通安全にも気を付けて。

2学期は、忙しくもありますが、子どもたちが一番成長する時期でもあります。今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のために、学校行事などもこれまで通りにできないことが多々ありますが、リスク0を求めて、やらないのではなく、できるだけリスクを下げつつ、やり方を工夫しながら、できる方向を模索していきたいと考えています。特に6年生にとっては、小学校生活最後の1年ですので、しっかり活躍してもらい、思い出に残る充実した2学期にしてほしいと思います。保護者の皆様もご理解・ご協力をお願いいたします。

ちょっといい話 6年生は最初に体育館に来て、窓を開けてくれるなど、始業式の準備をしてくださいました。また、少しでもいい声で校歌が歌えるように、式の前にちょっとした発声練習をしていました。このような姿勢がとても大切であると思います。多良小学校の6年生は素晴らしいと思います。

生活のお話

始業式に引き続き、小野原先生から2学期の生活のことでのお話がありました。始業式の子もたちの話の聴く姿などをほめていただきました。それから、2学期に学校に来る日は84日ということで、子どもたちには少しずつ成長して行ってほしいというメッセージを送っていただきました。その上で、①元気なあいさつ ②無言掃除 ③廊下の右側歩行 など、これまで頑張ってきたことをさらによくできるようになってほしいという思いを伝えてもらいました。最後に、登下校中の交通安全のことと、もし何か困ったことがあったら、すぐに先生たちに相談してほしいということをお話しいただきました。



人権のお話

引き続き、森山先生から、人権についてのお話がありました。森山先生からは、「多良小のみんなが、学校が楽しくなるために」、「多良小学校から、元気のいい人が出ないようにするために」どうすればよいかというお話でした。人間はさみしがりで誰も一人では生きていけないし、誰でも声をかけてもらったら嬉しいということ、人間のやる気や元気はまわりの人次第であるということなど、とても大切なことをお話しいただきました。その上で、子どもたちには、まわりの人に、①「声をかける」②「話を聴いてあげる」ということをいつもやってほしいということをお話しいただきました。



西日本新聞「ヤング川柳」、りんり俳句大賞 入賞！

多良小学校では、今年もヤング川柳に取り組み、西日本新聞に応募しています。7月18日(土)付けで【一席】で掲載され、学校便り第14号でも紹介しました3年 大石 結月さんの作品「まえにいく そわそわするよ でもまえに」がなんと、7月の月間賞に選ばれました。また、4年 峰下 寛菜さんと3年 牟田 悠亜さんの作品が、8月15日、22日の西日本新聞に掲載されましたので紹介します。

【二席】空みあげ きれいさっぱり わすれたわ 4年1組 峰下 寛菜さん
【次点】お父さん ぼくのせなかも ながしてよ 3年1組 牟田 悠亜さん

それから、公益財団法人 上廣倫理財団が主催するりんり俳句大賞 一学期の部に、5年 土橋 奈都美さんの作品が 銀賞として入賞しました。おめでとうございます。



【銀賞】かえるをね つかまえ見たら へんな顔 5年2組 土橋 奈都美さん